

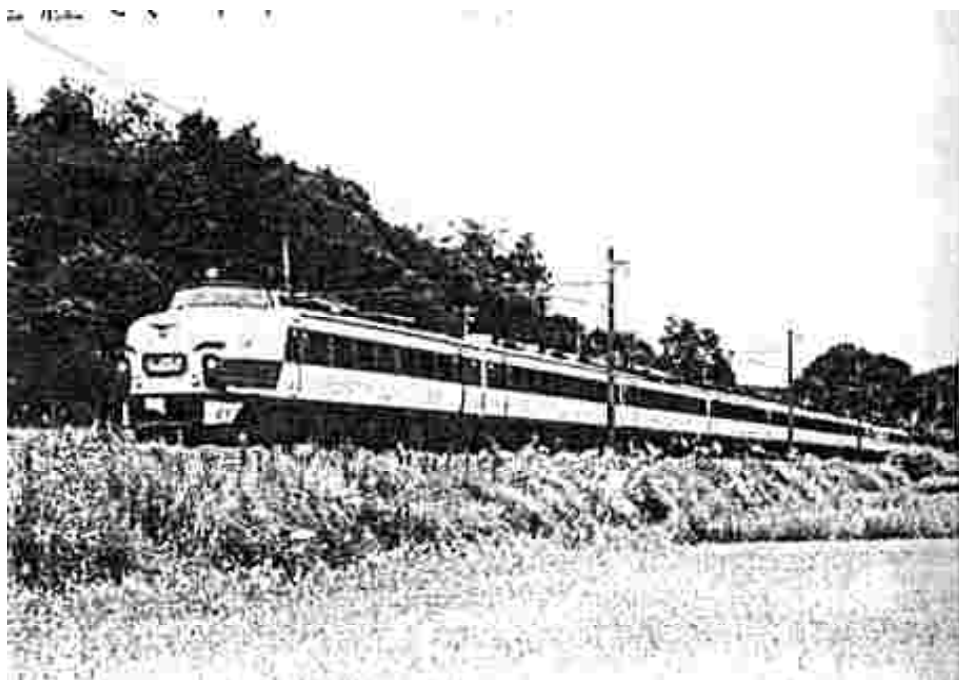


わ だ ち

No. 97

wa da chi

平成15年11月号



(2003年9月20日 北陸本線 牛ノ谷付近 撮影 西口 佳志

「さよならボンネット雷鳥!」「懐かしの雷鳥号」運転!

北陸線の交流電化以来 38年の長きにわたって活躍した、485系特急型のボンネットタイプの先頭車が9月21日をもって引退しました。

福井支部 ホームページアドレス

URL <http://member.nifty.ne.jp/konohana/>

Nゲージレイアウトリニューアルと運転会

中山 博幸

このたび福井支部所有の鉄道模型レイアウトにNゲージの高架を加えリニューアルを行いました。(前号の『わだち』にて路線配置図面掲載)その公開を兼ねて9月7日(日)、放送会館地下広場にて「さよならボンネット雷鳥」のタイトルで写真展示と運転会を実施しました。

設営準備は前日午後より開始、2人がかりで約3時間弱と不慣れに加え路線配置が複雑な分時間はかかりましたがなかなかの

見栄え、試運転でも1線が2回まわるため1周約16メートルと走行距離も倍増し走行感覚も良好。夜には大阪から応援の森本氏も到着し、そのまま前夜祭状態。

運転会当日は宣伝不足もあり人の出足は今ひとつでしたが、私は運転する方を楽しんでいました。来年以降、運転会などで皆さんにもご覧いただけたと思いますので、どうぞお楽しみに。

さよならボンネット型雷鳥
福井で模型運転会

JRの特急「雷鳥」のボンネット型電車の運行終了を惜しみ、「さよならボンネット雷鳥」模型運転会(主催・鉄道友の会福井支部)が7日、福井駅前放送会館であり、多くの鉄道ファンが

先頭車両の前面が機器類を載せるために出っ張っているボンネット型は、北陸線に64年に登場して以来39年間、多くの県民に親しまれてきた。同支部によると、ボンネット型の雷鳥が今月21日に姿を消すことで、全国で営業運転するボンネット型は金沢―上野間の急行「能登」だけになる。

会場では、幅9.3の線路(縮尺150分の1)を、ボンネット型や新しく導入されるパノラマ型の雷鳥などが走り、北陸線を走ったボンネット型電車の写真の展示もあった。

【田辺一城】



前部の出っ張りが特徴的なボンネット型「雷鳥」の模型

訪れた。

9月8日 毎日新聞

『福井県今庄をめぐる鉄道物語』のご案内

このたび今庄町役場・産業観光課より上記の書籍が発刊されました。著者は今庄町文化財保護委員の山本勝士氏です。北陸線の建設・蒸気機関車の活躍・北陸トンネルの開通など、学術的にもレベルの高い内容で、鉄道ファンにとっても必見の一冊です。福井支部製作の絵ハガキの写真も多数掲載されています。11月9日の福井支部例会の時に現物をお見せしますので、希望される方は注文してください。1冊500円です。

「さよならボンネット雷鳥」模型運転会報告

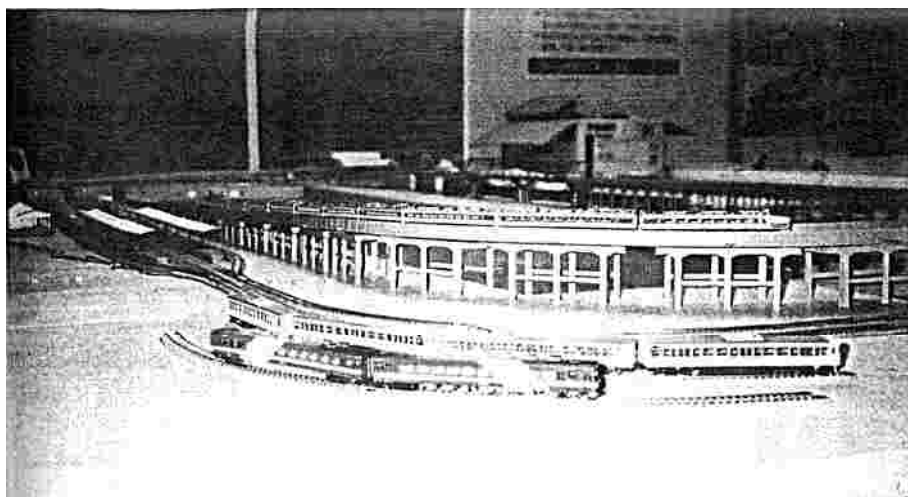
森家 和治

平成 15 年 9 月 7 日（日）福井放送会館デパートの地下 1 階広場にて、福井支部所有の模型レイアウトによる公開模型運転会を行いました。N ゲージの従来のレイアウトをリニューアルし、新しく高架を含めた複線 2 周エンドレスとしたニューレイアウトのお披露目となりました。当日は、9 月末で引退となるボンネット雷鳥への惜別の意を込めて「さよならボンネット雷鳥」のタイトルで、ボンネット 485 系を中心に、北陸線の列車を長編成で走行させました。

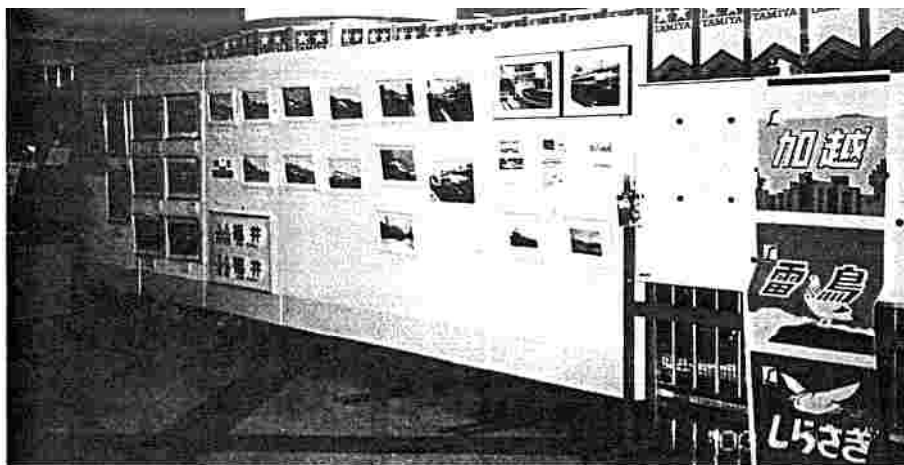
また、あわせて写真パネルの展示を行い、会員が撮影した 485 系ボンネット車の力作を集めて展示しました。

新レイアウトは高架部分を追加したことで、従来の平面のみに比べ立体感が出て運転風景に変化が付き、視覚的にも素晴らしい出来で、たいへん好評でした。会場は、見学客は少なめでしたが、その分列車運転に専念できたので、たいへん楽しい運転会となり大成功だったと思います。

最後になりましたが、会場でお世話になりましたフクイ模型様、会場の準備、運転をしていただいた会員諸氏、関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。



新レイアウト 高架線の勾配を 485 系ボンネットが駆け上がる



福井支部会員所有の写真、資料を展示

さよなら485系ボンネット「雷鳥」

特急 「懐かしの雷鳥号」運転！！

西口 佳志

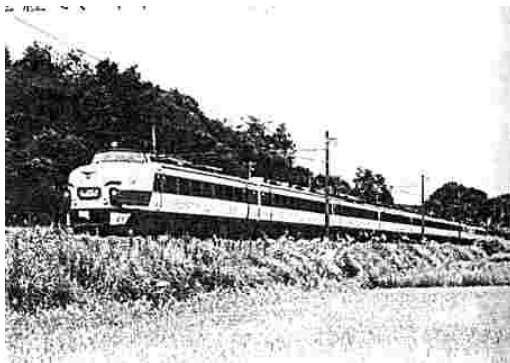
特急「雷鳥」に使用されている京都総合車両所所属の485系ボンネット形車両が引退することになり、これを記念して「懐かしの雷鳥号」が9月20日、21日に運転され、最後の花道を飾りました。

この車両は、旧国鉄時代から実に38年余の永きに渡り、北陸と関西を結ぶ重要な役割を担ってきましたが、近年683系サンダーバードの登場により、老朽化、車内設備の陳腐化が目立つようになり、10月のダイヤ改正を前に姿を消すこととなりました。

特急列車特有の重厚で風格あるスタイルで、そのイメージを定着させたボンネット形ですが、特急の使命である「速くて快適に」という乗客のニーズに合わなくなり、残念ながら引退となりました。

ボンネット形は、東京-大阪間の特急「こだま」の流れをくむ車両で、1964年12月に国鉄が電化間もない北陸線の近代化とスピードアップの目的で、交直両用車481系を開発、導入し、大阪向けの「雷鳥」と名古屋向けの「しらさぎ」が登場しました。その後、湖西線が開業し、「雷鳥」が湖西線経由となったので、米原での新幹線接続強化のため「加越」が誕生しましたが、683系投入のあおりを受け、2003年10月1日で「しらさぎ」に統一され、愛称名が消滅しました。

「しらさぎ」のボンネット形は、2001年9月で引退し、485系リニューアル車を経て、今年683系化されました。



2003年8月30日 特急「雷鳥」
北陸線 牛ノ谷付近

今回運転された「懐かしの雷鳥」は、2003年9月20日、21日の両日、大阪～富山間を1往復運転され、極めて登場時を再現すべく両端にボンネット形先頭車を配し、グリーン車3両を含む堂々の11両編成で、湖西線開通以前の米原経由という凝りようでした。編成内に食堂車（サシ）があれば完璧でしたが・・・。あいにくの雨模様のなか、沿線には数え切れない程のたくさんのファンが待ち構えていました。

9月21日には、富山駅構内で681系サンダーバード編成、485系パノラマ編成、485系ボンネット編成、419系（旧クハネ581）の特急形4種を並べた展示、撮影会が12:30から14:30まで行われました。

その後、富山発15:34、通い慣れた北陸線最後の旅として、大阪に向けて出発しました。永い間、ご苦労様でした。

なお、今回の引退でボンネット形が残るのは、金沢運転所の489系「能登」だけとなります。

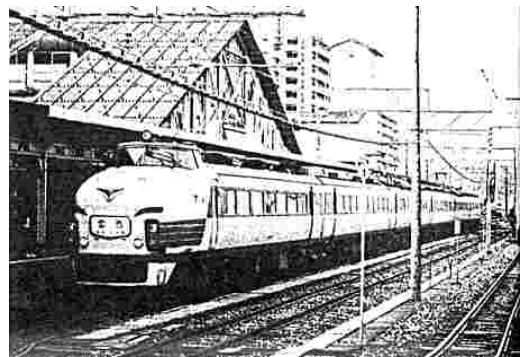
ボンネット形特急の歴史

昭和33年11月 初のボンネット形車両が「こだま」としてデビュー

昭和39年12月 特急「雷鳥」「しらさぎ」として、初のボンネット形交直流電車クハ481がデビュー

昭和57年11月 最後のボンネット形直流電車クハ181形特急「とき」が引退

平成15年9月 クハ481ボンネット形交直流電車が引退へ



2003年9月21日「懐かしの雷鳥」
最後の旅路へ、富山駅発車！



2003年 8月16日
特急「雷鳥」ボンネット
ト健在の頃

北陸本線 南今庄付近
撮影：西口 佳志



2003年 9月20日
ボンネット「雷鳥」最終日

「雷鳥16号」の大阪寄
先頭車

東海道線 大阪駅
撮影：西口 佳志

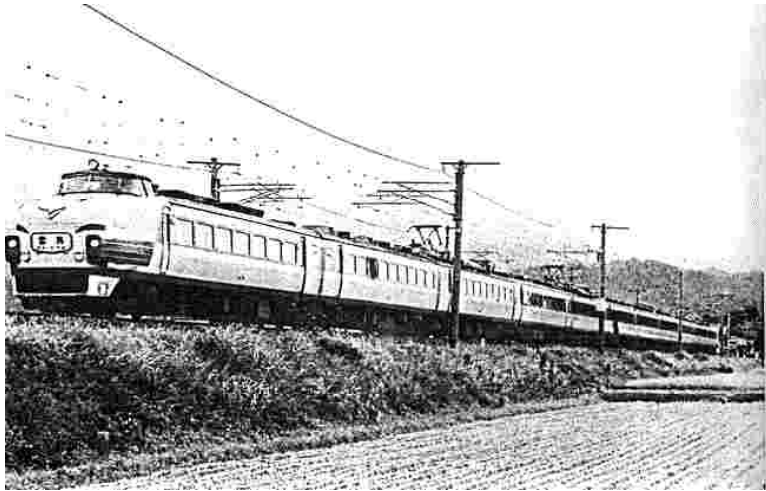


2003年 9月20日
「懐かしの雷鳥号」
国鉄時代の文字だけの
シンプルなヘッドマー
クが復活。

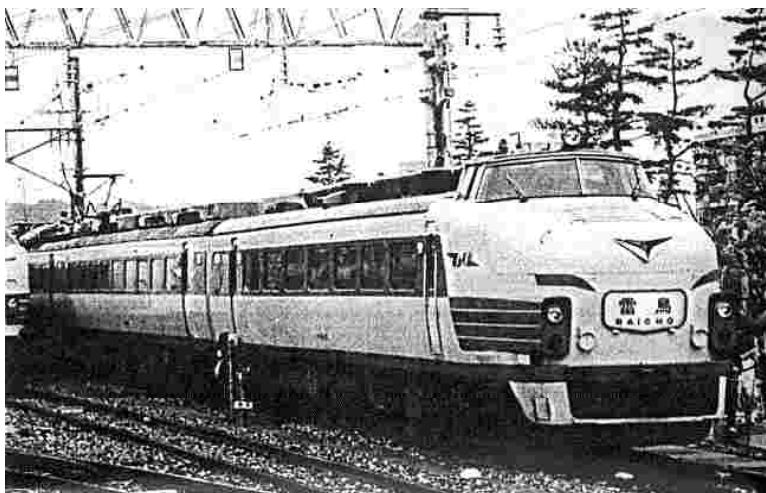
東海道線 大阪駅
撮影：西口 佳志



2003年 9月20日
「懐かしの雷鳥号」
東海道線 大阪駅
撮影：西口 佳志



2003年 9月21日
「懐かしの雷鳥号」
米原まわりのルートを
快走！
北陸線 坂田-田村
間にて
撮影：西口 佳志

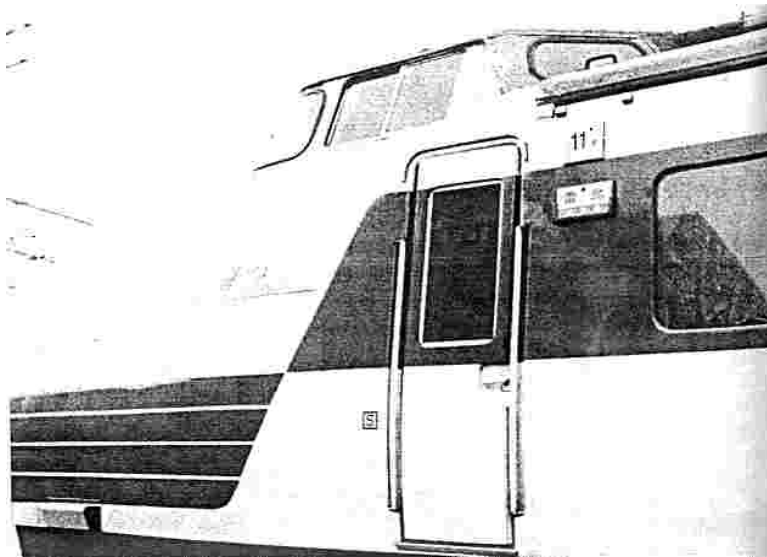


2003年 9月21日
「懐かしの雷鳥号」
北陸線 富山駅にて
展示、撮影会が行わ
れた。
撮影：西口 佳志



2003年9月21日
「懐かしの雷鳥号」
北陸線 富山駅にて
展示、撮影会。
485系ボンネット編成
485系パノラマグリーン
車編成
681系サンダーバード編
成
419系(もとクハネ581)
特急型4種の並びが実
現!

撮影：西口 佳志



2003年9月21日
「懐かしの雷鳥号」
先頭車サイドには、国
鉄時代の
JNRマークを再現。

撮影：西口 佳志



2003年9月21日
「懐かしの雷鳥号」
行先表示幕も国鉄時代
を再現。
(現在はデザインが異
なる)

撮影：西口 佳志

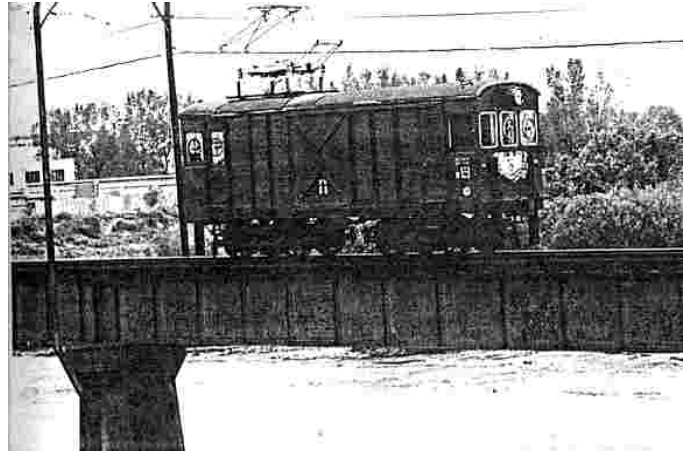
15.10.14.
 (福井鉄道)
福井駅前駅
 普通入場券 料金 180円
 客車内に立入ることはできません
 通用発売当日1回限り

15.10.14.
 (福井鉄道)
ぷらっとモール駅
 普通入場券 料金 180円
 客車内に立入ることはできません
 通用発売当日1回限り

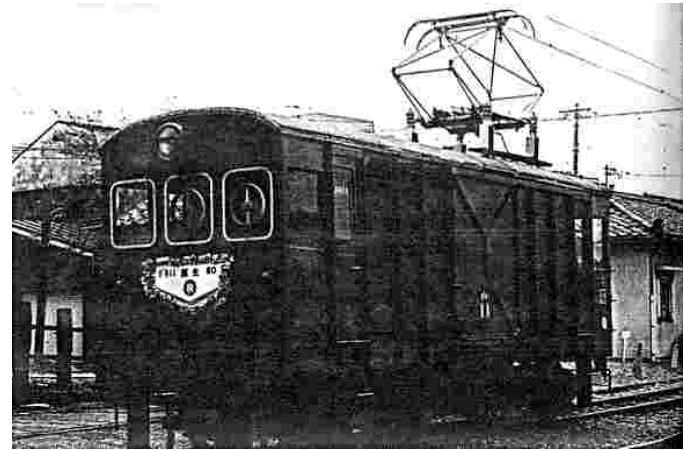
15.10.14.
 (福井鉄道)
裁判所前駅
 普通入場券 料金 180円
 客車内に立入ることはできません
 通用発売当日1回限り

15.10.14.
 (福井鉄道)
田原町駅
 普通入場券 料金 180円
 客車内に立入ることはできません
 通用発売当日1回限り

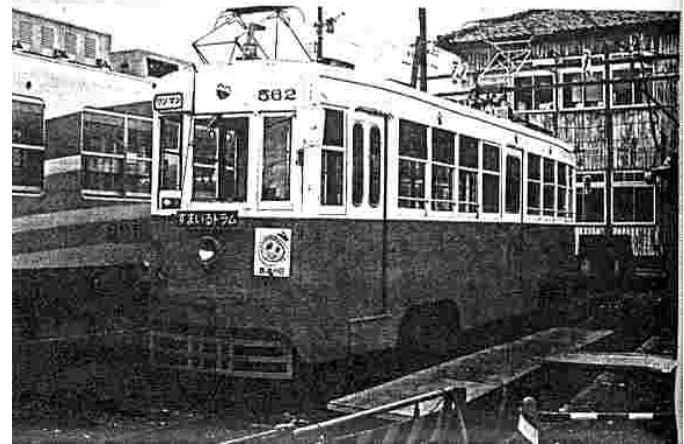
15.10.14.
 (福井鉄道)
 田原町から
福井市内(停)ゆき
 通用当日限り下車前途無効
 大 180円 田原町駅発行



日野川鉄橋を渡るデキ 11



西武生駅構内で発車を待つデキ 11



西武生駅構内で体験走行準備中のモハ 562

県内のJR夏～秋の臨時列車 撮影記

森家 和治

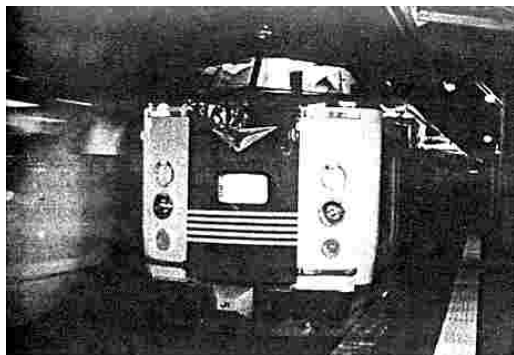
今年も夏季の臨時列車が多数運転されたが、その中でも珍しい運用が見られたものを紹介したい。特に福井県小浜市で開催された「若狭路博 2003」期間中は、小浜線に多数の臨時列車が運転された。北陸線では「サンダーバード」「しらさぎ」の増発が運転されたが、681、683系なので定期列車との差異はない。しかし、10月5日に運転された、福井発名古屋行き「しらさぎ 82号」は、489系（金沢車）能登編成ボンネット車で運転され、異彩を放った。

北陸線関係

東北夏祭り号

大阪～青森間を583系10両で運転。

期間 8月2～5日



03年8月2日 20:07 今庄駅
サンダーバード退避のため、今庄に
運転停車中。

東北のねぶた祭りをデザインしたヘ
ッドマークが特徴である。

この時期、京都車両所の583系は「き
たくに」臨時急行「あおもり」の
運用でフル稼働である。

ふるさと雷鳥

大阪～新潟間を485系9両で運転。

期間 8月12～17日

「白鳥」やJR東日本の「新潟雷鳥」
廃止後、臨時として新潟行きが運
転されているが、今期初めて国鉄
色となったパノラマグリーン車が

連結された。ヘッドマークは通
常の「雷鳥」と同じ。



03年8月13日 11:22 福井駅
ふるさと雷鳥 485系パノラマ車

越中おわら風の盆「おわら」号

大阪～越中八尾～富山

キハ181系5両で運転。

期間9月1～4日



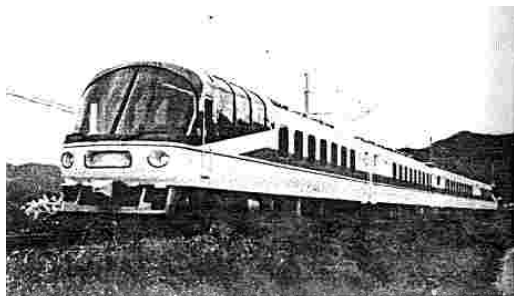
03年9月1日 北鯖江-大土呂間富山
県内で開催される越中おわら風の盆祭
りのための臨時列車で大阪と越中八尾
をキハ181系が結んだ。今回はヘッ
ドマーク付きで運転された。また、富山
～越中八尾間の輸送は、高岡車のデー
ゼルカーのほか、キハ65型エーデ
ル&リゾート5両が京都所から応援に
駆けつけた。京都車のキハ65型は、8
月31日の夕方、向日町から富山まで
回送されるのを目撃した。

小浜線関係

急行「若狭路博号」

福井～小浜間 キハ 65 型 4 両で運転。

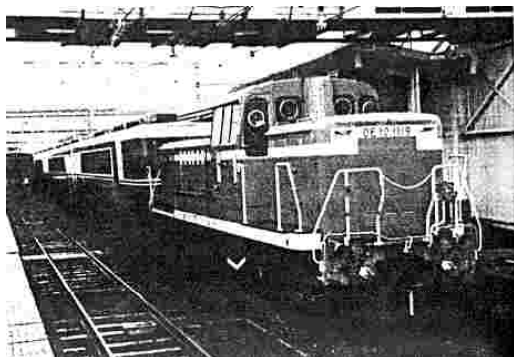
期間 若狭路博期間中の土、日曜日



03年9月20日 小浜線

十村～大鳥羽

「若狭路博 2003」開催中は、たくさんの臨時列車が運転された。福井～小浜を結んだ急行「若狭路博号」は週末の土、日に運転され、展望車付きの旧エーデル鳥取車の4両編成で、全席自由席のため多数の乗客で満席だった。また、特急「若狭路」として、683系3両が富山～小浜に数回運転された。ローカルの若狭路快速は125系3両でほぼ毎日、小浜～敦賀に運転された。その他、京都～小浜間に特急「まいづる」が延長運転、個別の団体専用車も運転され、多忙を極めた小浜線であった。



03年9月20日 小浜線 小浜駅

DE10 + わくわく団らん

小浜駅での機回し作業が忙しい！

敦賀港線（貨物線）

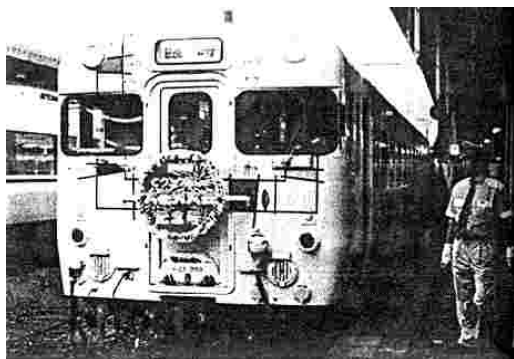
敦賀～敦賀港間

団体専用列車

「第54回とうろう流しと大花火大会号」

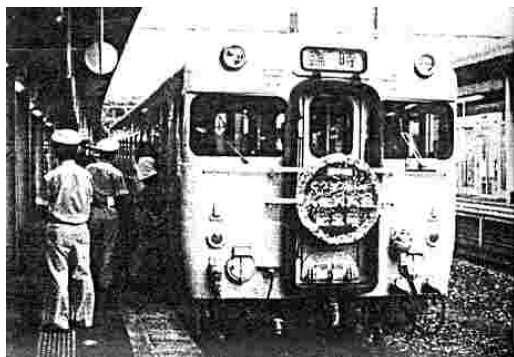
8月16日夕方のみ運転

敦賀の花火大会に伴う団体臨時列車が敦賀港線に運転された。旅行会社が特別に運転したもので、団体客以外は乗車不可であった。敦賀港線に旅客列車が運転されたのは、99年7月のSL運転以来である。当日は金沢車の旧「能登路」色キハ28+58の2両と、小浜線で活躍した「アートトレイン」キハ28の計3両編成で、美しい大型ヘッドマーク付きであった。久しぶりに敦賀に現れたディーゼルカーに、駅員さんも懐かしげに見ていた。



03年8月16日 17時頃

福井方先頭に立つのはキハ28 - 2159
古巣の敦賀に現れるが、これが最後？



同日

敦賀方先頭車キハ58 - 596
懐かしのディーゼル音が鳴り響く

❀❀❀❀ 事務局だより ❀❀❀❀

「わだち」97号の発行がたいへん遅くなりまして申し訳ありません。今回も編集長・事務局長が超多忙で、編集会議すら開くことができないような状況でした。残念ながら9月号は休刊ということになってしまいました。ようやく11月号が完成しましたのでお届けします。次回からは定期発行を心がけたいと思っていますので、よろしく願い申し上げます。



11月例会のご案内

11月9日(日)13時～16時 呉服町コミュニティセンター2階会議室
電話 21-2299(管理事務所)

福井支部の11月例会を上記のように開催いたします。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。えちぜん鉄道の全線開業・ボンネット形雷鳥の引退など福井県の鉄道に関しては大きな出来事が続きました。今回の例会は、これらの写真などを持ち寄り情報交換を中心に実施したいと思います。ビデオ付きテレビも準備しますので、みんなで視聴できるようなビデオがありましたらご持参ください。

また、5月の総会で故多田健治氏(福井支部会員)のご遺族から寄贈していただいた鉄道関係書籍の頒布を行いました。今回は第2弾としまして新たな書籍を展示いたします。新品同様の貴重な鉄道関係書籍を定価の10分の1程度で販売(売上げ金は、ご遺族への御礼とする予定です)いたします。ご協力ください。



まちづくりシンポジウムのご案内

11月24日(祝)13:30～16:30 福井市フェニックスプラザ小ホール
主催 ふくい路面電車とまちづくりの会

“つないで生きる電車・バス”～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通～というテーマでシンポジウムが開催されます。福井の公共交通に関心のある方、参加されてはいかがでしょうか。詳しくは福井支部事務局までお問い合わせください。

《終着駅》

わだち97号がたいへん遅れましたこと
をおわび申し上げます。

さて、県内初の第三セクター鉄道である「えちぜん鉄道」ですが、7月の部分開業以来乗車率はなかなかよいようです。しかしこれは福井、田原町、越前開発を中心とする比較的乗客数が多い市中心部が開通したため、今後8月の三国芦原線、10月の勝山線が開通し、末端線区を含めた乗客数がどのくらいになるかが本当の数字となります。筆者も休日何度か乗車しましたが、京福時代より乗客は増えているように思えますが、これは開業間もないため、試し乗りの乗客が多いのではないかと思います。本当の数字はこれから出てくるでしょう。せつかく復活した鉄道、利用者増となるよう、応援したいです。(文 森家)

発行 鉄道友の会福井支部 事務局

〒915 0801

越前市家久町79の30

岸本 雅行

編集 〒916 0013

鯖江市鳥羽2丁目1の11

森家 和治